

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)柏の葉キャンパス新技術センター計画 A棟 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								4.0	
Q1 室内環境					0.40		-	3.9	
1 音環境				4.4	0.15	-	-	4.4	
1.1 室内騒音レベル		事務室NC-40		4.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				5.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能:T-2		5.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能		Dr=50		5.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:ロックウール吸音板		4.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.9	0.35	-	-	2.9	
2.1 室温制御				4.1	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能		[外壁]U=0.8W/㎡・K、[窓]U=2.08W/㎡・K、SC=0.48		4.6	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		ペリメータ、インテリアゾーニング、4管式AHU、冷暖切替		5.0	0.37	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				1.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				4.7	0.25	-	-	4.7	
3.1 昼光利用				4.5	0.31	-	-		
1 昼光率		U=6.3%		5.0	0.59	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		ハイサイドライトを採用		4.0	0.41	3.0	-		
3.2 グレア対策				5.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		電動ブラインド		5.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		500lx		4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		明るさセンサー		5.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				4.2	0.25	-	-	4.2	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料を使用(70%)		4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				4.0	0.30	-	-		
1 換気量		中央管理方式の空調設備、30㎡/h人		4.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		各種排気と異方位、かつ6m以上		5.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		管理マニュアル		5.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	4.2	
1 機能性				4.3	0.40	-	-	4.3	
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		将来的に複数キャリアを引き込める空配管を設置している		4.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準		4.0	0.34	-	-		
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		天井高:2.7m		5.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース3.2%、自動販売機あり		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画		パースによる内装の事前検証を実施している		5.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		OAフロア、壁掛け便器など		5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃用具庫に洗い場を設置し、排水設備への経路を確保している		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.5	0.30	-	-	4.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振				5.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		最大層間変形角1/175		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		免振構造		5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		カーペット:20年		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		(厨房排気)の全てに、SUSやガルバニウムダクトを採用		5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		空調配管:難燃性断熱材被覆銅管・・・C		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				4.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		換気設備の系統区分、吊配管、災害時の優先運転・電源供給		5.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		グリーン購入法適合品、火災時の汚水槽、災害等の停電時に飲料		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電機、UPS、電源車接続時に利用可能な照明等の配線		5.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスS		5.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		光・メタル、1FにMDF室、UHF・BS・CS、ネットワーク機器用の無停電		5.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			4.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.0
1 生物環境の保全と創出			4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			4.5	0.20	-	-	4.5
集合住宅以外の評価			4.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			5.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.3	0.60	-	-	4.3
2.1 材料使用量の削減			5.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			1.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			4.0	0.25	-	-	
2 污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	